

# 日本の移民の受け入れ問題とその課題

## G9班

### 背景

現在の日本は労働力不足。

・外国人労働者をはじめとした国外の労働力の受け入れ

→安倍政権は実質的な移民政策を打ち出した。(※1)

→今後、労働環境は改善されるか。

### 仮説

単純に労働力が増加するため数年後には改善が見込めるのではないか。そのため、より多くの外国人を受け入れる体制を整えることが重要ではないか。

※1 安倍首相は移民政策ではないと否定している。

### 展望(改善策)

#### 1. シェアハウス

日本人：家賃を安くし、海外の文化を日本に居ながら学べる  
外国人：日本の文化を学び、治安悪化を防ぐ  
+シェアハウスを農村部に建てることで都市部集中の回避

#### 2. 企業で短期間業務を行う

日本人：企業は優秀な人材を手に入れることができ  
外国人：日本社会でのマナーを学べる、労働環境に慣れる

#### 3. 自治体の協力

日本の基本マナーの冊子を入国時に配布  
自治体主導のもと外国人同士の交流の機会を増やす

### 各国の政策と対応、影響

#### ドイツ

2015年「専門人材移民法案」

→2017年小学校では30件以上の暴力事件

→好意的な印象を持つ人多 人種差別の感情もある

→2015年シリア等から100万人超 事件増加治安悪化

#### イギリス

→1900年代から移民の受け入れを行っている

→白人のイギリス人は44.9% 生誕男児名1位「モハメッド」

→イスラム教徒とキリスト教徒の文化対立

#### アメリカ

→前大統領オバマ政権での移民政策、米国生まれの子どもを持っている数百万人の不法移民の滞在を認める『DAPA』は一度も履行されなかった。そのため、トランプ大統領は撤廃すると発表。

→移民政策が支持されない理由

①現在の国民の仕事が奪われる

②治安低下

③経済面での問題(住居の手配)

### 結果

《各国の調査より》

労働力が増加した⇨国内の人が働く場所が減少。

治安が悪化。

文化的違いも多く様々な問題発生。

⇒賛成派→反対派になる国も。

### 考察

→国内のデメリット > 労働力の確保

→農業、漁業といった産業の改善はあまり見込めない

→日本の治安レベルの低下は避けられない

(世界の主要都市安全性ランキング→東京3回連続1位 大阪3位)

→現在でも、外人に対して住居の入居拒否などの偏見がある

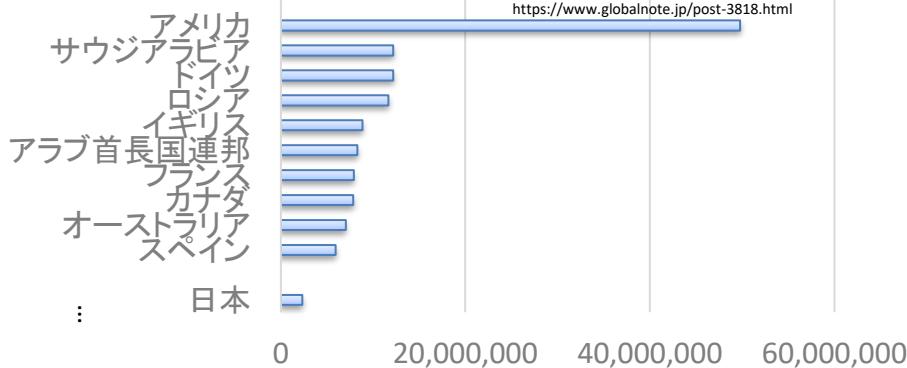
⇒今の状況だと受け入れは難しい

⇒現在の《3つの問題点》をあげると、

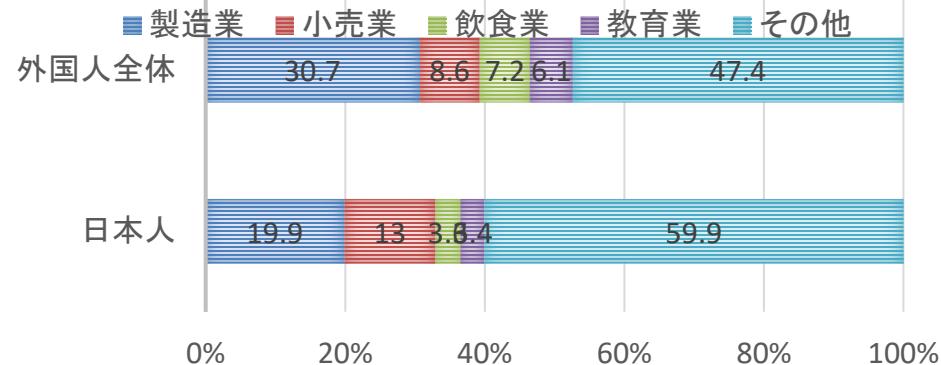
### 移民人口ランキング

参考: GLOBAL NOTE「世界の移民人口 国別ランキング・推移」

<https://www.globalnote.jp/post-3818.html>



### 産業分類別 就業者割合



治安

労働力

意識